



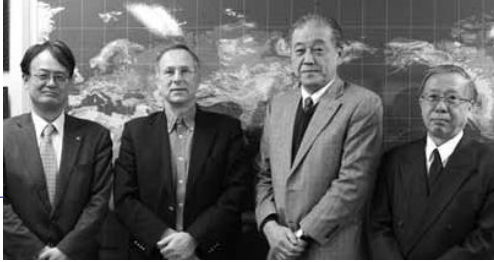
大自然や祭りで日本市場にアピール

デンマーク・フェロー諸島

1月31日(水)

ポール・ミケルセン 外交通商大臣

フレディ・スヴェイネ駐日デンマーク大使とともに志村理事長を訪れ、「大自然に加えて様々な祭りもあり多様なツアーの提供が可能なので、JATAの協力を通じて日本市場にアピールしたい」と表明。志村理事長は、「ツーリズムEXPOジャパンへの出展や業界向けセミナー・視察旅行で認知度向上を図れば、旅行者増につながる」と応じました。



ワークショップやファムツアーを実施

ポルトガル 2月1日(木)

ミゲル・モラエス ポルトガル政府観光局・業界マーケティングディレクター(写真中央左)

JATA本部を訪問し、「日本人旅行者は年々増加しており、ワークショップやファムツアーを実施して、旅行業界との協力を強化したい」と説明。越智事務局長らは、「ツーリズムEXPOジャパンへの出展や政府観光局の日本代表任命などを検討していただきたい。JATAとしても旅行者増に協力していく」と伝えました。



政府がチャーター促進プログラムを計画

ブラジル 2月5日(月)

マイケル・ナギ リオデジャネイロ観光コンベンション・ビューロー局長

志村理事長を訪れ、「JATAと連携して視察旅行やセミナーを実施したい。ブラジル政府はチャーター促進プログラムを計画している」と説明。志村理事長は、「安全な旅行先というイメージづくりにも力を入れていただきたい。継続的な観光促進活動で旅行者増が期待できる」と応えました。



港珠澳大橋の完成で共同キャンペーンも

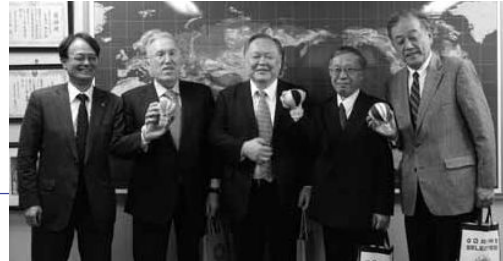
香港 2月9日(金)

アンソニー・ラウ 香港政府観光局理事長

志村理事長を訪問し、「旅行者の志向が体験型にシフトしており、グルメや文化、グリーンツーリズムなどをテーマに商品を開発していく。港珠澳大橋が完成したら、マカオ政府観光局と共にキャンペーンの実施を予定している」と表明。志村理事長は、「港珠澳大橋の特別企画も計画しており、協力をお願いしたい」と要請しました。

要人往来

平昌五輪での日本のメダルラッシュで韓国への注目度が高まるなど、海外旅行の追い風も強まってきました。各国・地域も日本市場に対して、引き続き、熱い視線を向けています。



日本人旅行者の復活に努めたい

トルコ 12月6日(水)

ハサン・ムラト・メルジャン 駐日トルコ大使(写真左から2人目)

菊間副会長を訪問し、「人気の高いイスタンブールとカッパドキアを中心に、日本人旅行者の復活に努めていくので、JATAに協力していただき、日本の旅行業界にも働きかけたい」と意欲を表明。菊間副会長は、「危険情報のレベルが下がれば、旅行会社も積極的に送客する。『美しい街道20選』に入ったエーゲ海・オリブ街道のツアー開発に力を入れたい」と応じました。



南モラビア地域の開発に協力を

チェコ 12月7日(木)

モニカ・パラトコヴァー チェコ政府観光局(写真中央)

菊間副会長を訪れ、「今後は南モラビア地域を開発していく方針で、日本の旅行業界にも協力していただきたい」と要請。菊間副会長は、「ドイツとオーストリアも含めたツアーの開発に向けて、緊密に情報交換してPRにも協力していく」と応えました。



アジア競技大会を機に旅行者増を

インドネシア 12月7日(木)

アスナウィ・バハル インドネシア旅行業協会会長(写真左)

JATA本部を訪問し、「インドネシアで開催されるアジア競技大会に向けて日本からの旅行者増加に努めており、送客をお願いしたい」と依頼。越智局長らは、「BtoBとBtoCの観光促進を図って、旅行会社に最新情報を提供すると同時に、ツーリズムEXPOジャパンへの出展が有効」とアドバイスしました。